

専門〈動物飼育員〉

(1) 動物園動物の繁殖生理とその測定方法に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

1. 繁殖生理とは、春機発動、性成熟、精子形成、卵胞発育、発情、排卵、着床、妊娠、出産、繁殖障害等の生殖機能や生殖活動に関わる生理をいう。
2. 動物園動物の繁殖生理に関する知見は限られているため、主に実験動物や家畜の知見や技術が応用されているが、それだけでは限界もある。
3. 繁殖生理を調べる方法は、一般的に、動物の捕獲や麻酔が必要な侵襲的方法、保定又は接触が必要な低侵襲的方法と、基本的には動物への接触を伴わない非侵襲的方法に分類される。
4. 動物園動物の多くは、日常的に血液中のホルモン測定を行うことが難しいが、馴致やハズバンドリートレーニングにより保定や麻酔なしで比較的安全に採血できる。
5. 動物園動物の排泄物中のホルモン測定は、サンプル採取が容易であるため汎用性が高く、血液中の測定に比べ分析過程が簡易で、基礎データも十分である。

(正答 5)

専門〈動物飼育員〉

(2) 「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律（以下「外来生物法」という。）」に関する次の文中の空欄ア～エに入る語句の組合せとして、正しいものはどれか。

外来生物法は、特定外来生物の ， ，栽培，運搬，保管といった取り扱いを規制している。

特定外来生物とは、海外から日本に導入される外来生物の中から、国内の生態系などに被害を及ぼすか、及ぼす恐れがあるものとして政令で定められたものであり、 ， ，シフゾウ，カミツキガメ，ウシガエルなどが指定されている。

	ア	イ	ウ	エ
1.	飼養	売買	アライグマ	ホンシュウジカ
2.	飼養	繁殖	ハクビシン	キョン
3.	飼養	輸入	アライグマ	キョン
4.	繁殖	売買	ハクビシン	アナグマ
5.	繁殖	輸入	アナグマ	ホンシュウジカ

(正答 3)